

1 概況

早い地区では2回目の摘採に入っています。栄養塩は知多西岸地区の北部と西三河地区の西部で十分ありますが、知多半島の南部は少ない状況です。植物プランクトンは先週に引き続き全域で少ない状況です。潮位は、直近で予測よりも高めで推移しています。海水温は、平年並みか平年より低い値で推移していますが、今週になって、あかぐされ病の兆候が初めて報告されました。来週にかけて暖かい日が続く予報となっており、病勢の拡大が懸念されますので、早期摘採と適切な干出等の網管理を心がけてください。

2 気象・海況

<水温> 12月6日

2~3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	12.7 °C
	平年差	-0.9 °C

<水温> 12月7日

漁生研 (-3.0m)	10時水温	15.3 °C
	平年差	+0.1 °C

<潮位偏差> 12月6日

名古屋港	5日平均*	-7 cm
	偏差	+5 cm

※12月2日~6日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北部:多い、中部:やや少ない、南部:少ない	なし	植物プランクトンは散見
知多東岸地区	やや少ない~少ない	なし	植物プランクトンは散見
西三河地区	多い~やや少ない	なし	植物プランクトンは散見
東三河地区	本年度の調査終了		

※基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い:121~、やや多い:81~120、やや少ない:41~80、少ない:~40

※植物プランクトン基準(単位:細胞/mL) 多い:10,000~、やや多い:5,000~10,000、少ない:1,000~5,000、散見:100~1,000、ほとんどいない:~100

<気温動向の予測> (気象庁予報より 予報期間:12月7日~12月13日)

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、平年より高いかかなり高くなる見込みです。特に期間の後半は、平均気温がかなり高くなるでしょう。
-------	--

3 養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病障害	その他
知多西岸地区	0~2回	200~600	概ね良好 一部にC系統	魚、カモ	ごく一部であかぐ されの兆候	海況はまずまず
知多東岸地区	0~2回	200~900	葉色は少し低下	魚、カモ	なし	食害の程度は漁場 によりまちまち
西三河地区	2回	350~500	概ね良好	魚、カモ	なし	食害は軽度
東三河地区	0~2回	300~500	良好	魚	なし	海況良好

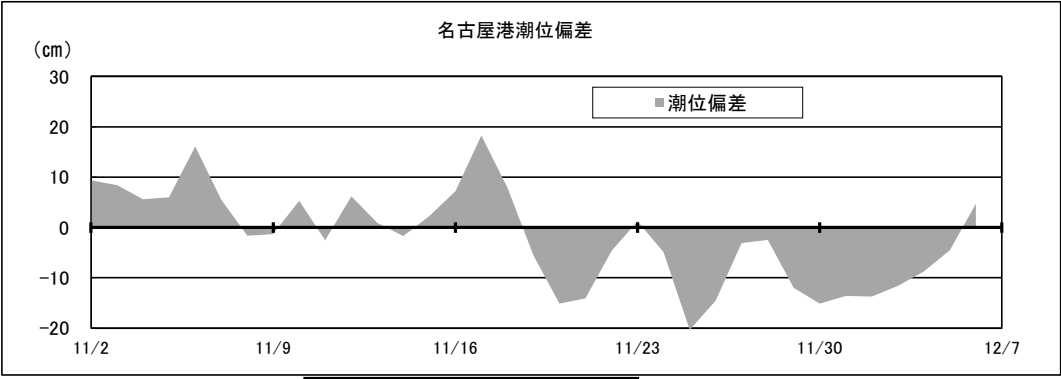
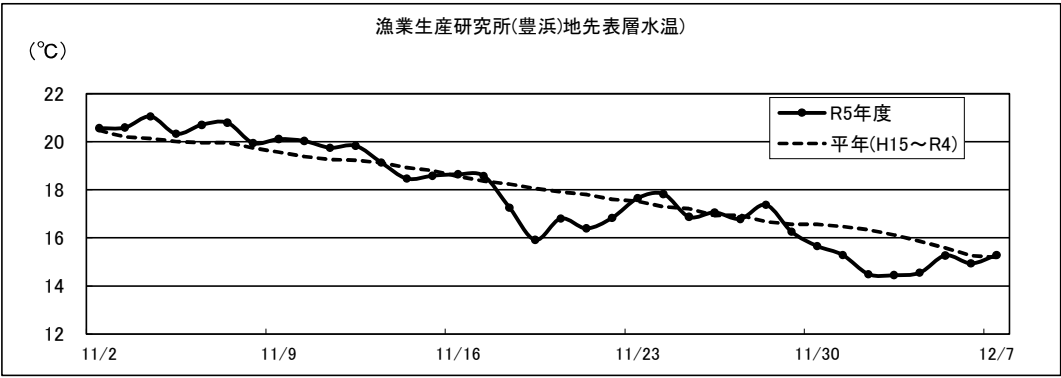
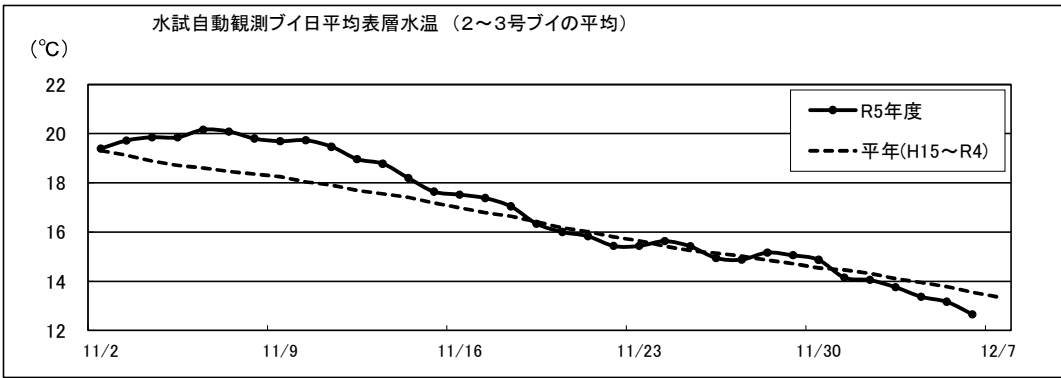
4 今後の管理

- ① 早期摘採と摘採後の適切な養殖管理を励行し、病障害の予防と製品の向上に努めること。
- ② 食害が発生している漁場では、防除網等の対策に努めること。
- ③ 冷蔵網への張り替え日程は、潮時だけでなく、地先及び近隣の病障害の状況を踏まえ決定すること。

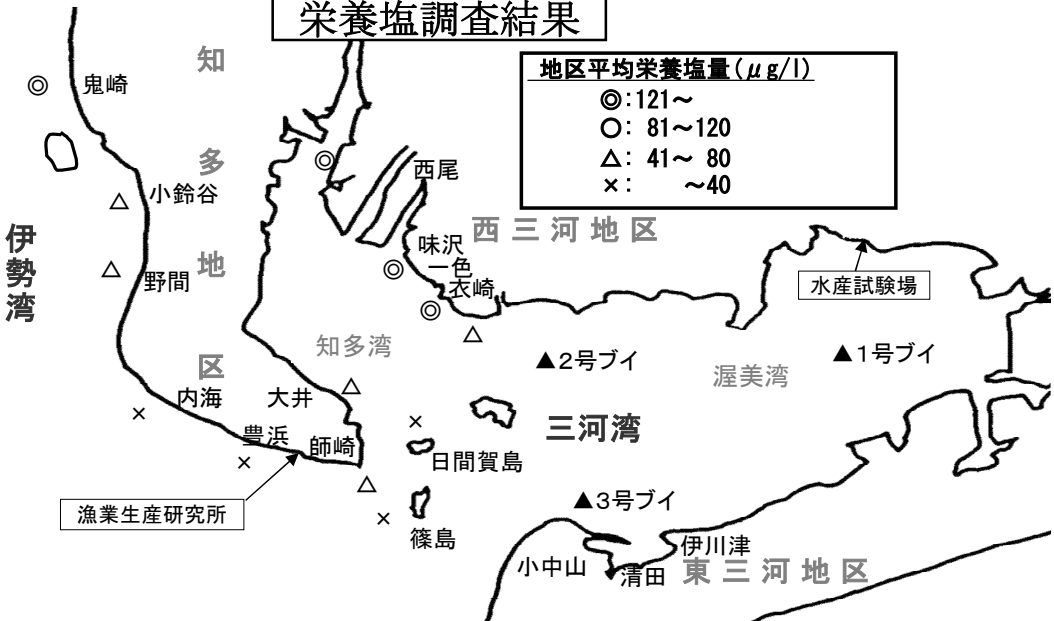
水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
次回は12月14日(木)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査結果



栄養塩調査日: 知多、西三河: 12月7日(木)、東三河: 調査終了
 調査機関: 知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会